

## <主な活動内容>

- ◆ 鳥取大学憲章において、「様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心を持ち、社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする」とし、「知と実践の融合」の基本理念のもと、地域から国際社会まで広く社会に貢献することを目指していくとしており、全学においてSDGsの達成に向けて幅広く取り組んでいる。
- ◆ 多くの方々と課題や目標を共有し、鳥取大学が先頭に立ってSDGsのゴールに向けて一緒に取り組んでいけるよう大学の教育・研究活動におけるSDGs活動事例をとりまとめ、事例ごとに対応するSDGsを併せて掲載するとともに、関連するイベントを実施した。
- ◆ 広報誌「風紋」66号に「鳥大SDGs特集 大学の教育・研究を世界の課題解決へ」と題し特集を組み、大学の取り組み事例等を掲載し、8月に発行した。

鳥取大学におけるSDGsに向けた取り組み

学長メッセージ

鳥取大学が行っているSDGsにつながる教育・研究・社会貢献などの取り組みを、多くの方々に知ってもらうため事例集にまとめました。これにより課題や目標を共有し、大学が先頭に立ってSDGsのゴールに向けて一緒に取り組んでまいりたいと思いません。

本学はSDGsが国連サミットで採択される以前から、乾燥地研究をはじめとする環境問題や、人々の健康に関する研究に常に取り組み、地域から国や世界への貢献につなげてまいりました。また、大学には専門家が分野横断的にそろっており、オープンに議論できるプラットフォームの機能があります。さらに、最近は学生を中心にSDGsについての意識も高まっており、市民や企業、自治体などの地域の方々も巻き込んで広く協働していくことが大学の意義であると考えています。2030年まであと10年。本学は地域の知の拠点として、これからも新しい価値を生み出し、SDGsの達成に向けて貢献してまいります。



大学HPに学長メッセージを掲載

砂漠化防止等への国際的貢献活動(PDF 293KB)



黄砂発生の原因解明と黄砂数値モデルへの応用(PDF 246KB)



鳥語燕典




大学HPに掲載されている取組事例 (一部)

風紋 vol.66 2020 / Summer

鳥取大学広報誌 FU-MON

鳥大SDGs 特集

大学の教育・研究を世界の課題解決へ



広報誌「風紋」66号に特集

鳥取大学エッジ

EDGE

再開催

「新型コロナウイルス」×「SDGs」×「地域」  
どう取り組むか。

新型コロナウイルス流行後の新しい社会において、持続可能な地域の未来を描いていくためには、地域内外、世代、ジェンダーなどあらゆる立場を超えた取り組みが一層求められています。「誰一人取り残さない」ことを誓うSDGsのアプローチは、あらゆる立場を築く道標となり得るはず。今回のTORIDAI EDGEでは、SDGsを大学経営の指針として、国内外とのパートナーシップによって活動している岡山大学 青尾謙先生からのレクチャーの後に、参加者自身の取り組みを検討し、あなた自身のSDGsとのつながりを再確認します。そして、新型コロナウイルス後の新しい社会において、SDGsをどう実現していくことができるか、立場を超えた共感の場として語り合っていきます。この共感こそ、持続可能な地域の未来に向かうヒントが隠されているはずです。

2020.12.12 Sat. 開催 要申込

新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止あるいはオンライン開催に必要の可能性がございます。

|   |  |  |
|---|--|--|
|  <p>知+<br/>TORIDAI EDGE Cafe<br/>14:00~15:00 広聴センター<br/>定員100名・参加費無料</p> |  <p>語+<br/>TORIDAI EDGE Talk<br/>15:15~17:15 広聴センター<br/>定員30名・参加費無料</p> |  <p>履+<br/>TORIDAI EDGE +α<br/>今回はコロナウイルス感染防止のため実施しません。</p> |
|---|--|--|

お申込みはコチラ

お問い合わせ先：鳥取大学地域創造推進研究教育情報連携推進室  
TEL:0871-31-4777 E-mail: kagaku@edgedge.jp

SDGsに関するイベントの開催